

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率（本校 77.7 %，県 69.2%）

対県比

112%

学力定着実態調査 本年度正答率

本校 76.8%
全国 73.5%

対全国比

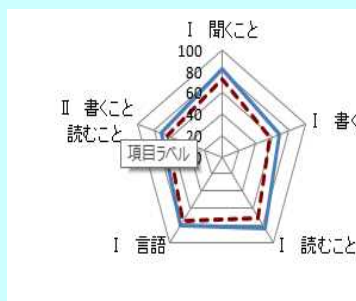
104%

本年度の結果について

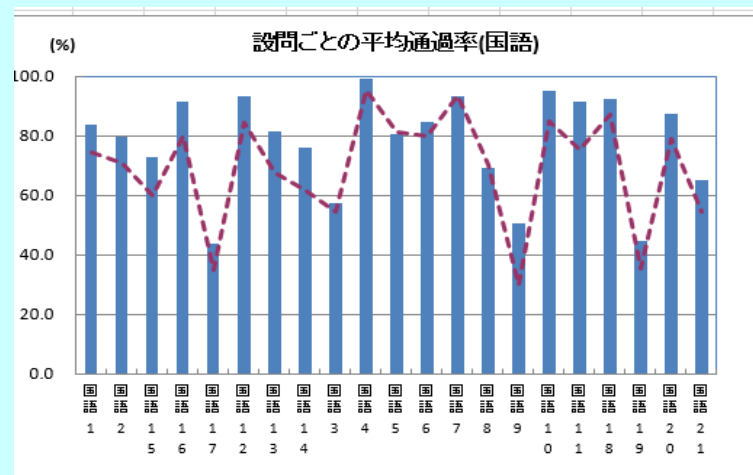
○「基礎・基本」の結果において、タイプⅠは78.9%、タイプⅡは72.3%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容についてはおおむね定着しているが、それを実生活や学習のさまざまな場面に活用する力に課題がある。

○「全国学力」では、A問題（知識）が80%、B問題（活用）が78%の正答率となっている。どちらも全国平均を超えているが、課題も明らかになったので、今後取組んでいきたい。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 80 %
全国 77.4%
県 78 %

B問題

本校 78 %
全国 72.2 %
県 73 %

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

115%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(正答率) (43.7%) 四3「叙述の仕方の確認」をする問題に課題がある。一つ一つの文章を丁寧に読み取ることができていないと考えられる。

【課題2】(正答率) (50.5%) 三1②「小3の漢字」を答えることに課題がある。文脈で言葉の意味を理解することができていないと考えられる。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(正答率) (71.2%) 九三「慣用句やことわざ、敬語などの語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」問題に課題がある。慣用句やことわざに触れる機会が少ないと考えられる。

【課題2】(正答率) (46.4%) 一三「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」問題で、無答率が12.3%である。(県14.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値（50%） 実施後数値（ %）主語が省略されている文章の読解などにおいて、文脈に注目させて主語を答えさせる指導を行う。また生徒が書く文章などにおいても、推敲させて主語と述語の係り受けが適切であるかどうか考えさせる。

【課題2】目標値（60%） 実施後数値（ %）文章を一文ずつ丁寧に読み、文中の言葉の意味や文脈を丁寧に読みとらせる指導を行う。また漢字を指導する際には、折に触れて同音で間違いやすい言葉などについて取り上げ、普段から注意しておくことができるように意識付けを行う。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値（78%） 実施後数値（ %）辞書を使って調べさせたり、身の周りの大人が使うことわざや慣用語を出させたりする。意味がわかるだけでなく日常生活の中で適切に使えるようになることを意識させて指導を行う。ことわざや慣用語の会話のやりとりを考えさせる。

【課題2】目標値（52%） 実施後数値（ %）比喩やその他の表現技法について再度指導する。入試対策を意識して、作文指導を定期的に行う。さまざまな資料の読み取り方を他教科と連携をとりながら指導する。

※今後の改善計画については別紙